

おらほの 歳時記 ～2010～



10年前までは、大勢の子どもたちとミニ山車が、9月の山の神祭を大いに盛り上げていました。

外沢は、金山町では一番北にある地区です。かつては、二十五世帯、人口九十人余りでしたが、平成八年頃に新主寝坂道路の着工が決まり、平成十年には主寝坂集落の住民七世帯四十人余りが町内などに移転し、現在は十五世帯、五十人余りの地区になりました。

元々は及位村（現真室川町）に属していたと聞いております。主寝坂小唄という唄があり、小さい頃、地区の飲み会があるとはあさん達が唄っているのを聞いたことがあります。私達の知らないたくさん歴史があるようです。

活力源は団結力

また、子ども達が少なくなくなったことは淋しいことです。小学生がゼロ、中学生一人、高校生四人となりました。広場で、大きな声を出しながらキャッチボールをして遊んでいたかつての光景が、今は懐かしく思い出されます。

国道十三号の外沢入口のバス停付近は、毎日のようにゴミのポイ捨てが後を絶たないため、地区の人達が交代制で毎週日曜日に清掃し、道路際に花を植えたところ、ゴミを捨てる人がいなくなりました。その取り組みにより、建設省（当時）から三回にわたり道路美化清掃の感謝状（平成二年・建設省東北地方建設局長、平成五年・同東北

地区の大きな行事、九月十二日の山の神秋祭では、若連が主役で昭和六十年頃からカラオケ大会が始まりました。この日は朝から準備に忙しく、肌寒いためにビニールハウスを立てて舞台を作りました。会場では、大人は酒が飲み放題、ナメコ汁は無料で、ヤキトリ、ワタ菓子を食べながら楽しく過ごすのが恒例になり、村の人達が集まって大いに楽しみました。

平成九年には、ミニ山車を作り、子ども達を先頭に地区内を引き、夜のカラオケ大会を盛り上げました。主寝坂の人達が移転してからは若者が少なくなり、ミニ山車も十二年が最後となり

ました。ハウスの中でのカラオケ大会も十四年が最後となり、今は飲み祭だけとなりましたが、祭の日の朝は五時三十分から、地区の全戸から一人ずつ出て山の神の草刈清掃作業を行い、お参りする行事は続いています。

平成十三年に公民館を新築し広場もできてから、毎年六月に地区上げてのグラウンドゴルフをしています。元主寝坂の人達にも毎年声をかけ、参加してもらっています。ゴルフ終了後、タケノコ、ジャガイモ等を入れたミズ汁、ヤキノバ等を食べながらの懇親会で最高に盛り上がります。



明るく住み良い地区づくりの源は、みんなの団結力。ゴミステーションも自前で建てました。

ただ、子ども達が少なくなくなったこと

地方建設局長、平成十二年・建設大臣）をいただくことができました。これも地区の人達が団結して努力したおかげだと思えます。老人一人暮らしが二世帯ありますが、全戸が地区活動に協力しあい、明るく盛り上げてくれることが地区の一番の自慢です。

子ども達の元気な声が聞こえてくることを楽しみに、みんなで地区・地域を盛り上げていこうと思います。

外沢地区の年間行事

- 四月 公民館雪囲い解き
- 六月 花植え、グラウンドゴルフ大会
- 七月 河川堤防草刈
- 八月 町道、林道草刈り
- 九月 山の神例祭
- 十一月 公民館雪囲い
- 一月 お歳灯、新年会
- 三月 地区総会

文 栗田 武雄（外沢）